

令和 8 年 度

簡易水道事業会計予算書

北海道厚真町

議案第5号

令和8年度 厚真町簡易水道事業会計予算

(総則)

第1条 令和8年度厚真町簡易水道事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

(1)給水戸数	2,100件
(2)年間総配水量	632,000m <sup>3</sup>
(3)1日平均配水量	1,730m <sup>3</sup>
(4)主要な建設改良事業	
京町地区配水管布設替工事	14,000千円
上厚真地区配水管布設替工事	14,000千円

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。なお、営業費用中、地方公営企業法の財務規定等の適用に要する経費に充てるため、公営企業会計適用債を2,200千円借り入れる。

	収	入
第1款 簡易水道事業収益		403,664千円
第1項 営業収益		137,173千円
第2項 営業外収益		266,491千円

	支	出
第1款 簡易水道事業費用		461,064千円
第1項 営業費用		441,602千円
第2項 営業外費用		18,962千円
第3項 予備費		500千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。(資本的収入額が資本的支出に対して不足する額134,981千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額3,636千円、当年度分損益勘定留保資金131,345千円で補填するものとする。)

	収	入
第1款 資本的収入		298,419千円
第1項 企業債		39,600千円
第2項 他会計出資金		123,400千円
第3項 他会計補助金		8,500千円
第4項 基金繰入金		126,919千円

	支	出
第1款 資本的支出		433,400千円
第1項 建設改良費		48,500千円
第2項 企業債償還金		382,400千円
第3項 基金繰出金		1,500千円
第4項 予備費		1,000千円

(企業債)

第5条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

(単位：千円)

起債の目的	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
簡易水道事業	39,600	普通貸借 又は 証券発行	年4.0%以内 (ただし、利率見 直し方式の借入に ついてはこの限で ない)	政府資金については、その融資条件により、金融機関による 場合は、債権者との協定による。 ただし、財政の都合により据置期間及び償還期間を短縮し、 もしくは繰上償還又は、低利債に借換えすることができる。
公営企業会計 適用	2,200	普通貸借 又は 証券発行	年4.0%以内 (ただし、利率見 直し方式の借入に ついてはこの限で ない)	政府資金については、その融資条件により、金融機関による 場合は、債権者との協定による。 ただし、財政の都合により据置期間及び償還期間を短縮し、 もしくは繰上償還又は、低利債に借換えすることができる。

(一時借入金)

第6条 一時借入金の限度額は、500,000千円と定める。

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第7条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

営業費用及び営業外費用の間の流用

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第8条 次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

職員給与費 18,710千円

(他会計からの補助金)

第9条 地方公営企業法第17条の2及び同条の3の規定により、一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は169,600千円である。

令和8年3月4日提出

厚真町長 宮坂尚市朗

令和 8 年度

予算に関する説明書

北海道厚真町

令和 8年度 厚真町簡易水道事業会計予算実施計画  
(収益的収入及び支出)

(収入の部)

(単位 千円)

款	項	目	予定額	備考
1. 簡易水道事業 収益			403,664	
	1. 営業収益		137,173	
		1. 給水収益	135,030	
		2. その他営業収益	2,143	
	2. 営業外収益		266,491	
		1. 受取利息及び配当金	1,600	
		2. 他会計補助金	161,100	
		3. 長期前受金戻入	101,312	
		4. 消費税及び地方消費税 還付金	2,479	

(支出の部)

(単位 千円)

款	項	目	予定額	備考
1. 簡易水道事業 費用			461,064	
	1. 営業費用		441,602	
		1. 原水及び浄水費	92,807	
		2. 配水及び給水費	23,579	
		3. 総係費	33,723	
		4. 減価償却費	291,493	
	2. 営業外費用		18,962	
		1. 支払利息及び企業債取 扱諸費	18,862	
		2. 雑支出	100	
	3. 予備費		500	
1. 予備費		500		

## (資本的収入及び支出)

(収入の部)

(単位 千円)

款	項	目	予定額	備考
1. 資本的収入			298,419	
	1. 企業債		39,600	
		1. 企業債	39,600	
	2. 他会計出資金		123,400	
		1. 他会計出資金	123,400	
	3. 他会計補助金		8,500	
		1. 他会計補助金	8,500	
	4. 基金繰入金		126,919	
		1. 基金繰入金	126,919	

(支出の部)

(単位 千円)

款	項	目	予定額	備考
1. 資本的支出			433,400	
	1. 建設改良費		48,500	
		1. 施設整備費	48,100	
		2. 固定資産購入費	400	
	2. 企業債償還金		382,400	
		1. 企業債償還金	382,400	
	3. 基金繰出金		1,500	
		1. 基金繰出金	1,500	
	4. 予備費		1,000	
		1. 予備費	1,000	

# 令和8年度厚真町簡易水道事業予定キャッシュ・フロー計算書

(令和8年4月1日から令和9年3月31日まで)

(単位：円)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純損失	60,030,637
減価償却費	291,493,000
賞与引当金の増減額 (△は減少)	42,000
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	162,000
長期前受金戻入額	△ 101,312,000
未収金の増減額 (△は増加)	7,721,000
未払金の増減額 (△は減少)	△ 29,026,911
受取利息及び受取配当金	△ 1,600,000
支払利息	17,629,000
小計	125,077,452
利息及び配当金の受取額	1,600,000
利息の支払額	△ 17,629,000
業務活動によるキャッシュ・フロー	109,048,452
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 44,090,275
基金への積立による支出	△ 1,500,000
基金繰入金による収入	126,919,000
一般会計又は他の特別会計からの繰入金による収入	8,500,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	89,828,725
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	39,600,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 344,370,000
その他の企業債による収入	2,200,000
その他の企業債の償還による支出	△ 38,030,000
他会計からの出資による収入	123,400,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 217,200,000
資金増加額	△ 18,322,823
資金期首残高	81,936,830
資金期末残高	63,614,007

1. 一般職

(1) 総括

(単位:千円)

区分	職員数	給 与 費				共 済 費	合 計	備 考				
		報 酬	給 料	職 員 手 当 等	計							
本 年 度	( 0 ) 2 人	2,214	7,833	4,911	14,958	3,752	18,710	他検針員2名分を含む				
前 年 度	( 0 ) 1 人	2,170	3,560	1,975	7,705	1,486	9,191	他検針員2名分を含む				
比 較	( 0 ) 1 人	44	4,273	2,936	7,253	2,266	9,519	他検針員2名分を含む				
職 員 手 当 の 内 訳	区 分	扶 養 手 当	期 末 手 当	勤 勉 手 当	寒 冷 地 手 当	住 居 手 当	管 理 職 手 当	時 間 外 勤 務 手 当	通 勤 手 当	特 殊 勤 務 手 当	児 童 手 当	旅 費 (費用弁償)
	本 年 度	156	1,860	1,534	179	0	0	862	200	0	120	0
	前 年 度	0	825	658	49	0	0	443	0	0	0	0
	比 較	156	1,035	876	130	0	0	419	200	0	120	0

( )内は、短時間勤務職員で外書き

ア 会計年度任用職員以外の職員

区分	職員数	給 与 費				共 済 費	合 計	備 考				
		報 酬	給 料	職 員 手 当 等	計							
本 年 度	( ) 2 人	2,214	7,833	4,911	14,958	3,752	18,710					
前 年 度	( ) 1 人	2,170	3,560	1,975	7,705	1,486	9,191					
比 較	( ) 1 人	44	4,273	2,936	7,253	2,266	9,519					
職 員 手 当 の 内 訳	区 分	扶 養 手 当	期 末 手 当	勤 勉 手 当	寒 冷 地 手 当	住 居 手 当	管 理 職 手 当	時 間 外 勤 務 手 当	通 勤 手 当	特 殊 勤 務 手 当	児 童 手 当	旅 費 (費用弁償)
	本 年 度	156	1,860	1,534	179	0	0	862	200	0	120	0
	前 年 度	0	825	658	49	0	0	443	0	0	0	0
	比 較	156	1,035	876	130	0	0	419	200	0	120	0

( )内は、短時間勤務職員で外書き

イ 会計年度任用職員

区分	職員数	給 与 費				共 済 費	合 計	備 考				
		報 酬	給 料	職 員 手 当 等	計							
本 年 度	( ) 0 人	0	0	0	0	0	0					
前 年 度	( ) 0 人	0	0	0	0	0	0					
比 較	( ) 0 人	0	0	0	0	0	0					
職 員 手 当 の 内 訳	区 分	扶 養 手 当	期 末 手 当	勤 勉 手 当	寒 冷 地 手 当	住 居 手 当	管 理 職 手 当	時 間 外 勤 務 手 当	通 勤 手 当	特 殊 勤 務 手 当	児 童 手 当	旅 費 (費用弁償)
	本 年 度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	前 年 度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	比 較	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

( )内は、短時間勤務職員で外書き

(2) 給料及び職員手当の増減額の明細

区 分	増 減 額	増減額の増減事由別内訳	説 明	備 考														
給 料	4,273	1. 給与改正に伴う増減分	118 前年度当初予算額 3,560 千円(a) 給与改定率 3.30 %(b) (a)×(b)= 117,480 円≒ 118 千円	給与改定の状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>給料の改定率</th> <th>給与改定実施時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前年度</td> <td>3%</td> <td>令和7年4月1日</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区 分	給料の改定率	給与改定実施時期	前年度	3%	令和7年4月1日								
		区 分	給料の改定率	給与改定実施時期														
		前年度	3%	令和7年4月1日														
2. 昇給に伴う増加分	239 1) 本年度昇給発令に係る所要額 239 千円 2) 前年度昇給発令に係る所要額 千円	平均昇給率 1.71 % <table border="1"> <thead> <tr> <th>昇 給 期</th> <th>職 員 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 月</td> <td>2 人</td> </tr> <tr> <td>月</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>月</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	昇 給 期	職 員 数	1 月	2 人	月	人	月	人								
昇 給 期	職 員 数																	
1 月	2 人																	
月	人																	
月	人																	
3. その他の増減分	3,916 支給職員数等の変動に係る増減 <ul style="list-style-type: none"> <li>・採用(再任用含む) 0 千円</li> <li>・退職 0 千円</li> <li>・会計間異動 3,916 千円</li> </ul>	職員数の異動状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>現 に 在 職 する職員数</th> <th>そ の 他</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本年度</td> <td>2 人</td> <td>0 人</td> <td>2 人</td> </tr> <tr> <td>前年度</td> <td>1 人</td> <td>0 人</td> <td>1 人</td> </tr> <tr> <td>比較</td> <td>1 人</td> <td>0 人</td> <td>1 人</td> </tr> </tbody> </table> 令和7年度中の採用者 人 令和7年度中の退職者 人 令和8年度新採用者(予定) 人 会計間異動 1 人	区 分	現 に 在 職 する職員数	そ の 他	計	本年度	2 人	0 人	2 人	前年度	1 人	0 人	1 人	比較	1 人	0 人	1 人
区 分	現 に 在 職 する職員数	そ の 他	計															
本年度	2 人	0 人	2 人															
前年度	1 人	0 人	1 人															
比較	1 人	0 人	1 人															
職 員 手 当 等	2,936	1. 制度改正に伴う増減分																
		2. その他の増減分	2,936 扶養手当 156 千円 期末手当 1,035 千円 勤勉手当 876 千円 寒冷地手当 130 千円 住居手当 0 千円 管理職手当 0 千円 時間外勤務手当 419 千円 通勤手当 200 千円 地域手当 0 千円 特殊勤務手当 0 千円 児童手当 120 千円															

(3) 給料及び職員手当の状況

ア. 職員1人あたり給与

区	分	一般行政職	税務職	保健職	技能労務職	教育職	摘要
令和8年1月1日現在	平均給料月額	324,800 円	円	円	- 円	- 円	
	平均給与月額	340,300 円	円	円	- 円	- 円	
	平均年齢	38.0 歳	歳	歳	- 歳	- 歳	
令和7年1月1日現在	平均給料月額	291,100 円	円	円	- 円	- 円	
	平均給与月額	302,600 円	円	円	- 円	- 円	
	平均年齢	37.0 歳	歳	歳	- 歳	- 歳	

イ. 初任給

区	分	一般行政職	税務職	保健職	技能労務職	教育職	摘要
厚真町	高校卒	200,300 円	円	- 円	- 円	- 円	
	大学卒	232,000 円	円	円	- 円	- 円	
国の基準	高校卒	200,300 円	円	- 円	- 円	- 円	
	大学卒	232,000 円	円	円	- 円	- 円	

ウ. 級別職員数

区分	一般行政職		税務職		保健職		技能労務職		教育職	
	職員数	構成比	職員数	構成比	職員数	構成比	職員数	構成比	職員数	構成比
令和8年1月1日現在	7級	( ) 人 ( ) %	( ) 人 ( ) %	( ) 人 ( ) %	( ) 人 ( ) %	( ) 人 ( ) %	( ) 人 ( ) %	( ) 人 ( ) %	( ) 人 ( ) %	( ) 人 ( ) %
	6級	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	5級	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	4級	( ) 2 ( ) 100.0	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )
	3級	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	2級	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	1級	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	計	( ) 2 ( ) 100.0	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )
令和7年1月1日現在	7級	( ) 人 ( ) %	( ) 人 ( ) %	( ) 人 ( ) %	( ) 人 ( ) %	( ) 人 ( ) %	( ) 人 ( ) %	( ) 人 ( ) %	( ) 人 ( ) %	( ) 人 ( ) %
	6級	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	5級	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	4級	( ) 1 ( ) 100.0	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )
	3級	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	2級	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	1級	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	計	( ) 1 ( ) 100.0	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )

( )内は、再任用短時間勤務職員で外書き

(級別の基準となる職務)

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級
一般行政職	主事	主事	主任	主査	主幹	課長・参事・会計管理者・議会事務局長・支所長	理事

エ.昇給

区 分	合 計	職 種						
		一 般 行 政 職	税 務 職	保 健 職	技 能 労 務 職	教 育 職	職	
本 年 度	職 員 数 (A) (人)	2	2					
	昇給に係る職員数 (B) (人)	2	2					
	号 給 数 別 内 訳	2号給 (人)						
		3号給 (人)						
		4号給 (人)	2	2				
		5号給 (人)						
		6号給 (人)						
比 率 (B) / (A) (%)	100.0	100.0						
前 年 度	職 員 数 (A) (人)	1	1					
	昇給に係る職員数 (B) (人)	1	1					
	号 給 数 別 内 訳	2号給 (人)						
		3号給 (人)						
		4号給 (人)	1	1				
		5号給 (人)						
		6号給 (人)						
比 率 (B) / (A) (%)	100.0	100.0						

オ.期末手当・勤勉手当

区 分	支 給 期 間 別 支 給 率		支 給 率 計 (月 分)	職 制 上 の 段 階 職 務 の 級 等 に よ る 加 算 措 置	備 考
	6月 (月分)	12月 (月分)			
本 年 度	2.325	2.325	4.65	有	
前 年 度	2.3	2.35	4.65	有	
国 の 制 度	2.325	2.325	4.65	有	

( )内は、再任用短時間勤務職員で外書き

カ. 定年退職及び応募認定退職に係る退職手当

区 分	20年勤続の者 (月分)	25年勤続の者 (月分)	35年勤続の者 (月分)	最高限度額 (月分)	そ の 他 の 加 算 措 置 等	退 職 時 特 別 昇 給	備 考
支 給 率 等	24.586875	33.2705	47.709	47.709	制限なし	なし	
国 の 制 度 ( 支 給 率 等 )	24.586875	33.2705	47.709	47.709	定年前早期退職特例措置2%~20%加算	なし	

キ.地域手当

支 給 対 象 地 域	札幌市						
支 給 率 (%)	3						
支 給 対 象 職 員 数 (人)	0						
国 の 指 定 基 準 に 基 づ く 支 給 率 (%)	3						

ク.特殊勤務手当

区 分	全 職 種	代 表 的 な 職 種				
		一 般 行 政 職	税 務 職	保 健 職	技 能 労 務 職	教 育 職
給料総額に対する比率 (%)						
支給対象職員の比率 (%) (令和8年1月1日現在)						
代表的な特殊勤務手当の名称						

ケ.その他の手当

区 分	国 の 制 度 と の 異 同	差 異 の 内 容
扶 養 手 当	同	
住 居 手 当	同	
通 勤 手 当	同	※自動車等使用距離が片道35km以上は一律22,800円

令和8年度 厚真町簡易水道事業 予定貸借対照表  
 ( 令和9年3月31日 )

(単位：円)

資 産 の 部

1. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
イ. 土地		38,755,711	
ロ. 建物	753,196,984		
建物減価償却累計額	<u>△ 73,923,442</u>	679,273,542	
ハ. 構築物	5,000,948,191		
構築物減価償却累計額	<u>△ 482,564,304</u>	4,518,383,887	
ニ. 機械及び装置	1,498,666,073		
機械装置減価償却累計額	<u>△ 340,129,979</u>	1,158,536,094	
ホ. 工具器具及び備品	834,773		
工具器具備品減価償却累計額	<u>△ 102,750</u>	732,023	
ヘ. 建設仮勘定		5,000,000	
有形固定資産合計			6,400,681,257
(2) 無形固定資産			
イ. 水利権		525,075	
ロ. ダム使用権		375,383,897	
無形固定資産合計			375,908,972
(3) 投資その他の資産			
イ. 基金		336,984,649	
投資その他の資産合計			<u>336,984,649</u>
固定資産合計			<u>7,113,574,878</u>
2. 流動資産			
(1) 現金預金		63,614,007	
(2) 未収金		18,935,000	
(3) 貸倒引当金		<u>△ 324,000</u>	
流動資産合計			<u>82,225,007</u>
資産合計			<u><u>7,195,799,885</u></u>

## 負 債 の 部

3. 固定負債			
(1) 企業債			
イ. 建設改良費等の財源に充てる企業債	3,876,618,649		
ロ. その他の企業債	108,848,013		
企業債合計	108,848,013	3,985,466,662	
固定負債合計			3,985,466,662
4. 流動負債			
(1) 企業債			
イ. 建設改良費等の財源に充てる企業債	343,225,460		
ロ. その他の企業債	38,050,000		
企業債合計	381,275,460	381,275,460	
(2) 未払金			
イ. 営業未払金	7,000,000		
ロ. 営業外未払金	1,584,747		
未払金合計	8,584,747	8,584,747	
(3) 引当金			
イ. 賞与引当金	1,435,000		
引当金合計	1,435,000	1,435,000	
流動負債合計			391,295,207
5. 繰延収益			
(1) 長期前受金		2,399,139,584	
(2) 長期前受金収益化累計額		△ 330,211,849	
繰延収益合計		2,068,927,735	2,068,927,735
負債合計			6,445,689,604

資 本 の 部

6. 資本金			910,231,333
7. 剰余金			
(1) 資本剰余金			
イ. 道補助金	9,461,596		
ロ. 他会計補助金	14,513,052		
ハ. その他資本剰余金	14,030,000		
資本剰余金合計		38,004,648	
(2) 利益剰余金			
イ. 当年度未処理欠損金	198,125,700		
利益剰余金合計		198,125,700	
剰余金合計			△ 160,121,052
資本合計			750,110,281
負債資本合計			7,195,799,885

# 令和8年度 注記表

## I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### 1. 固定資産の減価償却の方法

#### (1) 有形固定資産

##### 定額法

##### ・主な耐用年数

建物	15年～50年
構築物	10年～60年
機械及び装置	6年～20年
工具器具及び備品	5年～15年

### 2. 引当金の計上基準

#### (1) 退職給付引当金

職員の退職手当は、一般会計がその全部を負担することとなっているため、退職給付引当金は計上していない。

#### (2) 賞与引当金及び法定福利費引当金

職員の期末・勤勉手当の支給及びこれに係る法定福利費の支払に備えるため、当事業年度末における支給見込額に基づき、当事業年度の負担に属する額を計上している。

#### (3) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、貸倒実績率等による回収不能見込額を計上している。

### 3. その他会計に関する書類の作成のための基本となる重要な事項

#### (1) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

## II. 予定貸借対照表等に関する注記

### 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（当該事業年度の末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む）のうち、他会計が負担すると見込まれる額は2,402,000千円である。

## III. セグメント情報に関する注記

簡易水道事業のみを運営しており、単一セグメントのため、記載を省略している。

## IV. その他の注記

### 1. 引当金の目的使用による取り崩し

#### (1) 賞与引当金

令和8年度において、職員の期末手当・勤勉手当の支給、及び当該支給にかかる法定福利費を支出するために取り崩しことが見込まれる賞与引当金の額は1,393千円である。

令和7年度

厚真町簡易水道事業予定損益計算書  
( 令和7年4月1日 から 令和8年3月31日 まで)

(単位：円)

1. 営業収益			
(1) 給水収益	132,727,270		
(2) その他の営業収益	<u>7,806,764</u>	140,534,034	
2. 営業費用			
(1) 原水及び浄水費	92,230,873		
(2) 配水及び給水費	16,869,143		
(3) 総係費	43,517,198		
(4) 減価償却費	<u>317,103,704</u>	<u>469,720,918</u>	
営業利益(損失)			△ 329,186,884
3. 営業外収益			
(1) 受取利息及び配当金	322,462		
(2) 他会計補助金	168,449,000		
(3) 長期前受金戻入	<u>114,782,876</u>	283,554,338	
4. 営業外費用			
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	17,766,000		
(2) 雑支出	<u>100,000</u>	<u>17,866,000</u>	
経常利益(損失)			<u>265,688,338</u>
当年度純利益(損失)			△ 63,498,546
前年度繰越利益剰余金(欠損金)			△ 63,498,546
当年度未処分利益剰余金(未処理欠損金)			△ 74,596,517
			<u>△ 138,095,063</u>

令和7年度 厚真町簡易水道事業 予定貸借対照表  
( 令和8年3月31日 )

(単位：円)

資 産 の 部

1. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
イ. 土地		38,755,711	
ロ. 建物	753,196,984		
建物減価償却累計額	<u>△ 48,789,442</u>	704,407,542	
ハ. 構築物	4,975,493,645		
構築物減価償却累計額	<u>△ 327,156,304</u>	4,648,337,341	
ニ. 機械及び装置	1,485,757,617		
機械装置減価償却累計額	<u>△ 237,280,979</u>	1,248,476,638	
ホ. 工具器具及び備品	107,500		
工具器具備品減価償却累計額	<u>△ 96,750</u>	10,750	
有形固定資産合計			6,639,987,982
(2) 無形固定資産			
イ. 水利権		655,075	
ロ. ダム使用权		<u>383,349,897</u>	
無形固定資産合計			384,004,972
(3) 投資その他の資産			
イ. 基金		<u>462,403,649</u>	
投資その他の資産合計			<u>462,403,649</u>
固定資産合計			7,486,396,603
2. 流動資産			
(1) 現金預金			81,936,830
(2) 未収金			26,656,000
(3) 貸倒引当金			<u>△ 162,000</u>
流動資産合計			<u>108,430,830</u>
資産合計			<u><u>7,594,827,433</u></u>

## 負 債 の 部

3. 固定負債			
(1) 企業債			
イ. 建設改良費等の財源に充てる企業債	4,180,244,109		
ロ. その他の企業債	144,698,013		
企業債合計	4,324,942,122		
固定負債合計		4,324,942,122	
4. 流動負債			
(1) 企業債			
イ. 建設改良費等の財源に充てる企業債	344,370,000		
ロ. その他の企業債	38,030,000		
企業債合計	382,400,000		
(2) 未払金			
イ. 営業未払金	34,747,823		
ロ. 営業外未払金	2,863,835		
未払金合計	37,611,658		
(3) 引当金			
イ. 賞与引当金	1,393,000		
引当金合計	1,393,000		
流動負債合計		421,404,658	
5. 繰延収益			
(1) 長期前受金		2,390,639,584	
(2) 長期前受金収益化累計額		△ 228,899,849	
繰延収益合計		2,161,739,735	
負債合計		6,908,086,515	

資 本 の 部

6. 資本金			786,831,333
7. 剰余金			
(1) 資本剰余金			
イ. 道補助金	9,461,596		
ロ. 他会計補助金	14,513,052		
ハ. その他資本剰余金	14,030,000		
資本剰余金合計		38,004,648	
(2) 利益剰余金			
イ. 当年度未処理欠損金	138,095,063		
利益剰余金合計		138,095,063	
剰余金合計			△ 100,090,415
資本合計			686,740,918
負債資本合計			7,594,827,433

# 令和7年度注記表

## I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### 1. 固定資産の減価償却の方法

#### (1) 有形固定資産

##### 定額法

##### ・主な耐用年数

建物	15年～50年
構築物	10年～60年
機械及び装置	6年～20年
工具器具及び備品	5年～15年

### 2. 引当金の計上基準

#### (1) 退職給付引当金

職員の退職手当は、一般会計がその全部を負担することとなっているため、退職給付引当金は計上していない。

#### (2) 賞与引当金及び法定福利費引当金

職員の期末・勤勉手当の支給及びこれに係る法定福利費の支払に備えるため、当事業年度末における支給見込額に基づき、当事業年度の負担に属する額を計上している。

#### (3) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、貸倒実績率等による回収不能見込額を計上している。

### 3. その他会計に関する書類の作成のための基本となる重要な事項

#### (1) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

## II. 予定貸借対照表等に関する注記

### 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（当該事業年度の末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む）のうち、他会計が負担すると見込まれる額は2,589,000千円である。

## III. セグメント情報に関する注記

簡易水道事業のみを運営しており、単一セグメントのため、記載を省略している。

## IV. その他の注記

### 1. 引当金の目的使用による取り崩し

#### (1) 賞与引当金

令和7年度において、職員の期末手当・勤勉手当の支給、及び当該支給にかかる法定福利費を支出するために取り崩すことが見込まれる賞与引当金の額は536千円である。